

新宿発

景観を守り育てる方法



2007年度、新宿区では、区内を72エリアに分けた詳細な調査のもと、「新宿区景観まちづくり計画(素案)」と「景観まちづくりガイドブック」10冊を作成しました。

本シンポジウムでは、この新宿区での取り組みについて、実際に調査、素案づくりを担当した東京大学、早稲田大学、工学院大学からの報告と、パネラーと地域住民、市民の方との対話を中心に、これからの景観まちづくりのあり方を考えたいと思います。

2008年5月9日(金) 14:00~16:30

会場：新宿文化センター 小ホール(新宿区新宿6-14-1) 入場無料

■発表：「新宿の景観 地域ごとの個性、その読み方と育て方」

東京大学都市デザイン研究室

早稲田大学後藤研究室

工学院大学窪田研究室

■パネルディスカッション：「生活者の視点からの景観まちづくり」

進士五十八(東京農業大学教授・新宿区景観まちづくり審議会会長)

西村 幸夫(東京大学大学院教授・新宿区景観まちづくり審議会委員)

後藤 春彦(早稲田大学大学院教授・新宿区景観まちづくり審議会委員)

中山 弘子(新宿区長)

■主催：美しい東京をつくる都民の会・新宿区

■申し込み：当日、直接会場へ。

■問い合わせ：新宿区都市計画部景観と地区計画課

新宿区歌舞伎町 1-4-1 電話 03-5273-3831

